

# 私 が 思 う こ と

坂祝町に住み、各分野でご活躍されているお二人の方に、それぞれの思いを語っていただきました。

自治会長を終えて

雲埋南自治会

兼松 伸行



自治会長としての一年を振り返り素直な気持ちとして、大変有意義な時間と知識蓄積を頂いたと感謝しています。

子育て支援拠点施設構想の「ツクリバ会議」にも参加させて頂き、町では、将来の人口減少防止対策として、若い世代が坂祝に住み続け、子育てがしたい等、魅力ある町づくりに取り組んでおられる事に大変感銘を受けました。反面、将来の借財を残すことに反対する意見も少なからずあることも知りました。建設予定地は将来、子どもを中心として、町民誰もが集える関連施設の増設も視野に入れた構想です。今後は町が何をしてくれる

のかではなく、町に対して何ができるのかを真剣に考えないと、将来、建物はお荷物になってしまいます。町民の多数参加と意識改革が第一だと痛感しました。

ただ、今回の構想で水田が減ってしまうのは農業関係者として寂しい限りです。

前段に繋がることです。が、安心・安全の町づくりに取り組まれている事は理解できますが、消防団活動に町民があまり関心が無い様に感じられます。東海大地震等を想定し毎年防災訓練等を行います。大災害が発生した場合、初期対応は町消防団であり、消防団OBです。常設消防署の対応は無に等しいと考えるべきです。団員勧誘に同行しましたが、「仕事が忙しい」「交替勤務で」とかで断られてばかりでした。確かに消防団活動もあまりPRされてなく、訓練の大変さのみ考えての回答であったと思いま

す。

早急に町民参加の消防団のあり方についての会を立ち上げ、抜本的な協議をすべきだと痛感しました。無くして良い組織ではありません。町民に必要な組織であると考えています。

最後に、今後も自治会活動を通し、安心・安全な町づくりに協力させて頂きたいと思えます。

地域の温かさに感謝

山田 千登美



坂祝町に住み始めて30年余りが経ち、多くの人と出会い、繋がりも広がりました。そして一昨年12月主任児童委員をお受けする事になり、様々な会議、行事に参加し、今問題になっている子ども

以上の起きていることを知りました。また坂祝町においても親の共働きなどで、子どもが休日ひとりになりがちな家庭も珍しくないと思えます。そんな中、社会福祉協議会では、子どもの居場所として昨年11月より学習支援教室がスタートしました。それをきっかけに他にも居場所をという思いから翌月には、有志により子ども食堂ほのぼのが立ち上がりました。老若男女問わず誰もが集える場です。当初15名程だったメンバーも今は20名になり、私もその仲間に入

れさせて頂いていきます。何も無いゼロからのスタートで資金繰りなど大変な面もありますが、有難いことに場所はメンバーのひとりの母屋を解放して下さり本当に助かっています。またお米や野菜などを提供して下さる方、おかずやデザートを作って提供して下さいの方、また教育委員会、学校の先生方も来て下さり、たくさんの人達の温かいご厚意によって成り立っています。人と人の繋がりに支えられている事を実感しています。そのお陰で回を増すごとに、子どもも大人も一緒に和み、笑顔が見られ、とても嬉しいです。また、私自身も地域の子どものちと触れあえる貴重な場所となりました。誰もが集い、居心地の良い場所となる事を願っています。今後も子どもたちとの接点を保ちながら、温かく見守り続けていきたいと思います。

編集後記

3月議会では、予算の減額修正を可決しました。事業が前進できるよう、議員全員が覚悟をもって取り組んでまいります。

広報編集委員会

委員長 河村 利道  
副委員長 松田 和樹  
委員 浮中 敏雄  
柴山 佳也